

JAEF REPORT

令和6年1月5日

年4回発行(1,4,7,10月)

(公財)日本自動車教育振興財団 活動報告

【目次】

- ◆ 新年のご挨拶
- ◆ 13都県で教材贈呈式、交流促進活動を実施
- ◆ 財団ウェブサイトをリニューアル
- ◆ 令和6年度 講師派遣募集開始

- ◆ 各部会・委員会にて令和5年度上期活動状況を報告
- ◆ 分解組立式小型EV“PIUS”を用いた特別講習を実施
- ◆ 動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に7本のコンテンツ掲載
- ◆ 27都道府県（65件）の研修会に講師を派遣

新年のご挨拶

財団運営

新年おめでとうございます。旧年中は弊財団に対し格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

3年余りにわたり新型コロナウイルス感染が社会全般的に大きな影響を及ぼしましたが、昨年は徐々に通常モードに戻ってきたように思います。

財団では、コロナ禍による従来活動への制約を補うべく、令和3年度以降、下表にあるような様々な新しい試みにより、高等学校における自動車・交通社会への理解促進、ものづくり人材の育成支援に努めて参りました。

例えば、自動車の機構に実際に触れて関心を高めてもらおうと、分解組立可能な小型電気自動車の講習（座学及び分解組立指導）に取り組んだり、教育現場でのICT化にあわせ、デジタル教材（動画及びPDF形式の副教材）の作成に取り組んで参りました。また、新型コロナウイルス感染症の分類変更により社会が通常モードに移行した令和5年度は、ものづくり人材育成支援の更なる強化に努め、関係各所のご協力のもと、これまでにない大きな成果を

上げることができました。財団事業について意見を賜る会議体に事業委員会があります。11月に開催された同委員会にて、田中照久委員長（日本自動車販売協会連合会常務理事）より、「必要な事業がうまくいっているのはありがたいこと。財団の努力にこたえられるよう我々団体も協力していかないといけない」との大変有難いお言葉を頂戴いたしました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。また、多くの皆様に頼りにされる団体でありたいという思いを改めて強く抱いた次第であります。

令和6年度も、更なる飛躍を目指して参りたいと考えています。電動化社会を見据え、これまでの機械系・自動車系学科にとどまらず、電子・電気系学科にもリーチを伸ばすべく、下記写真のような新たな教材の提供を開始したり、各都道府県の工業系研究部会の先生方や自動車販売店との連携強化により、自動車最新技術の出前授業の拡大を行って参りたいと考えています。

教育関係団体の皆様、自動車関係団体・企業の皆様には、何とぞ倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

【コロナ禍での財団事業・新規活動・従来活動強化の主な内容一】

【提供教材に採用予定のEVキットカー】



弊財団の長田利彦理事（全国工業高等学校長協会顧問）が、去る10月5日、不慮の事故によりご逝去されました。長田理事には、財団が公益法人に移行した平成24年以来、長きにわたり理事として財団活動にご助言、ご協力いただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
技術教育支援事業	コロナ禍による活動縮小・中止	E/G分組動画作成 分解組立式電気自動車（PIUS）特別講習実施	DVD教材「自動車・電気基礎」の改定 過去最高の提供校 教材提供活動の強化 過去最高の実施校 自動車最新技術出前授業の強化	販売店での教材贈呈式（整備現場の理解促進）
調査・普及啓発事業		動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」動画作成 デジタル副教材作成	ホームページ全面改訂	
研修事業		交通安全講習でのオンライン対応	JMS高校生招聘（追加企画）	

INFORMATION

1～3月予定

- 4都道府県（8件）の研修会に講師を派遣 1月～3月
- 各部会・委員会を開催 2月
- 第31回理事会を開催 3月

◆ 13都県で教材贈呈式、交流促進活動を実施

財団は、令和5年度の技術教育支援事業の一環として、贈呈対象の14都道県にて過去最多となる110校に自動車技術教育用教材を提供することとしている。これにあたり、10月に3県、11月に5県、12月に5都県にて、各自動車教育推進協議会*（以下、推進協議会）と共催で「自動車技術教育用教材贈呈式」（以下、贈呈式）を開催した。

従来は贈呈式と共に、地域に密着した自動車教育を推進していくための情報交換の場として教育懇談会（意見交換会）を行ってきた。今年度からは、参加される先生方に自動車整備の職場環境に対する理解を深めていただくことを目的として、一部地域で自動車販売会社にて開催（右表内赤枠部をご参照）。贈呈式・教育懇談会に加え、サービス工場・店舗など各施設の見学も実施した。

各施設を見学された先生からは、

「見学したサービス工場は私の認識と違っていた。工場内は広く綺麗でクーラーが完備され、従業員控室も確保され、女性でも働きやすい職場であることを改めて認識した。」（広島）

「教員、保護者、生徒が、今日のようなサービス工場を見学できる機会を増やしてほしい。」（富山）

「他業種と比べても、まったく引けを取らない良好な職場環境だと理解できた。」（石川）

といった感想・意見が寄せられるなど、たいへん好評であった。普段直接目にする機会が少ない、自動車整備の職場環境への適切な理解促進に大いに寄与した。

財団では次年度以降も、当贈呈式・教育懇談会に参加される先生方にとって一層有益な機会となるよう、各地域の自動車教育推進協議会と連携しながら、様々な検討を進めていく予定である。

当贈呈式・教育懇談会の開催、自動車販売会社などでの施設見学にご協力いただいた各関係団体・企業の皆さまに紙面をお借りして深謝申し上げます。

【贈呈式の様子】



* 各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会、日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部の5団体（一部の県では中古車販売店協会が参加）を中心に構成。

…令和5年10月～12月

技術教育

【令和5年度 教材贈呈式 開催実績（予定含む）】

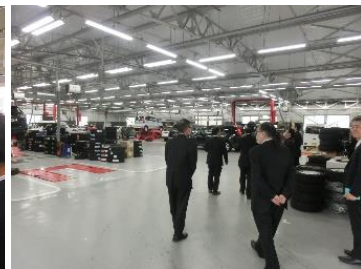
地区	開催日	贈呈式会場	施設見学
栃木	10/4	栃木県自動車会館	
神奈川	10/31	HOTEL PULUMM	
千葉	10/31	千葉県自動車整備振興会	○ ※
島根	11/8	ネットトヨタ島根（株） 本社	○
福井	11/15	ザ・グランユアーズフクイ	
広島	11/16	広島日産自動車（株） 本社	○
富山	11/28	トヨタモビリティ富山（株） Gスクエア五福	○
石川	11/30	石川日産自動車販売（株） 本社	○
鳥取	12/1	鳥取トヨタ自動車（株） 米子東店	○
山口	12/4	亀福オンブレイス	
埼玉	12/8	埼玉ロイヤルパインズホテル	
岡山	12/13	岡山プラザホテル	
東京	12/19	ホテル雅叙園東京	
北海道	1/9 (予定)	ホテルライフオーソ札幌	

※ 千葉県自動車大学校を見学

【施設見学の様子】



▲ネットトヨタ島根



▲広島日産自動車



▲トヨタモビリティ富山



▲石川日産自動車販売



▲鳥取トヨタ自動車



▲千葉県自動車大学校

財団ウェブサイトをリニューアル

…令和5年12月1日

普及啓発

財団は、12月1日にウェブサイトを全面的に刷新した。旧サイトでは支援活動項目毎に情報を掲載してきたが、利用される先生方の以下3つの担当別にポータル（玄関）を設け、夫々に対象となる各支援メニューを一覧できる形式とし、視認性・利便性を向上させた（右欄画像をご参照）。

- ◆ 工科・工業系、総合学科
- ◆ 生活（交通安全）指導
- ◆ 地歴・公民／探求学習

この他フリー検索機能を追加し、キーワード入力により、サイト内の関連する支援メニュー・情報を閲覧可能とした。

更に、今回のリニューアルに伴い新たなコンテンツ管理システムを採用。従来外部委託していた情報の掲載・更新業務を概ね財団内で対応し、タイムリーな情報発信及びサイト管理業務の効率化に繋げる。

<新ウェブサイトはこちらから>

<https://jaef.or.jp>



各関連団体・企業の皆さまにおかれましては、ご利用のPC・端末にて、旧サイト内の個別メニューURLを「ブックマーク（お気に入り）」登録されている場合、新サイトでのURLにて再登録をお願いします。



令和6年度 講師派遣募集開始

…令和5年12月

研修

財団は、令和6年度 講師派遣支援の申込要領を12月20日付で全国の高等学校（約6,000校）にFAXで公募すると共に、ウェブサイトにて申込受付ページを開設した。なお従来3月より公募開始していた「自動車の最新技術」「自動車の整備技術」についても、各校の次年度計画策定に反映できるよう前倒しのうえ申込受付を開始した。各校へ漏れなく告知し、令和5年度を上回る申し込み件数をを目指す。

講師派遣の対象は各地の学校、教育委員会等が開催する研修会で、令和6年度は、新たに「⑩カーボンニュートラル社会の未来に貢献するモビリティの最新情報」「⑬ヘルメット着用の重要性」（右表内、水色部をご参照）を加えた18メニューを提供し、毎年生徒へ多様なテーマで受講機会を設けたい、といった先生方の要望に応える。

関係団体・企業の皆様には、引き続きまして専門講師派遣へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

【令和5年度 講師派遣の様子】



▲宮城県高等学校工業教育研究会 機械系分科会（自動車技術）

▲愛知県立安城高等学校 夜間定時制課程（交通安全）

【令和6年度講師派遣メニュー】

ジャンル	メニュー	
自動車の最新技術	①	トヨタ ハイブリッド車 について
	②	日産 電気自動車 について
	③	実車を用いた 出前授業 ホンダ e:HEVについて
	④	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立
	⑤	三菱 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて
自動車の整備技術	⑥	ガソリンエンジンの分解・組立
	⑦	整備振興会での実習指導 トランスミッションの分解・組立
	⑧	電子制御エンジンの構造と点検・整備
環境技術	⑨	地球温暖化防止とモビリティ技術 電動車の仕組みと充電・水素インフラ
	⑩	カーボンニュートラル社会の未来に貢献するモビリティの最新情報
交通技術	⑪	交通技術と社会のあり方 自動運転技術が拓く未来と人との協調
	⑫	自動運転と倫理法律問題
交通安全	⑬	ヘルメット着用の重要性
	⑭	交通安全対策 夜間の交通安全対策
	⑮	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全
	⑯	事故への備え 交通事故のリスクと損害保険の役割
	⑰	自転車事故のリスクと損害保険の役割
	⑱	バイク実習 二輪車（バイク）の交通安全 ～高校生のためのSafety Riding～

各部会・委員会にて令和5年度上期活動状況を報告・・・令和5年10月～11月

財団運営

財団は10月から11月にかけて、右表の通り事業ごとの部会や事業委員会、企画委員会を開催した。4事業とも当年度事業計画に沿ってほぼ計画通りに進捗していることが報告され、報告事項は異議なく承認された。

個別には、技術教育支援事業では「教材提供では高校への案内方法の見直し等により応募校数増加に繋がったが、今後もアピールを続ける必要がある」、普及啓発事業については「電動キックボードは注目されているモビリティであり、その動画制作・公開は効果的である」、研修事業に関しては「『JAPAN MOBILITY SHOW 2023』への高校生招待は新たな体験の場が提供でき、大変重要な取り組みである」等の意見や質問があった。

【部会・委員会の開催実績】

部会・委員会名	開催日
技術教育部会 (技術教育支援事業)	10/20 (金)
研修部会 (研修事業)	10/24 (火)
調査普及部会 (調査研究／普及啓発事業)	
事業委員会 (事業総括)	11/13 (月)
企画委員会 (財団運営)	

分解組立式小型EV” PIUS” を用いた特別講習を実施

・・・令和5年10月～12月

技術教育

財団は、一昨年から重点取組事項のひとつ「体験型授業の充実」の施策として、分解組立式小型電気自動車

“PIUS (ピウス)” を用いた特別講習を実施している。

当該期間で右表の3回を実施し、年度計画の計10回を完了した。



▲弘前東高等学校 (青森県) での講習

【PIUS特別講習 実施校、対象等】

開催日	開催地	実施校	対象
10/12, 13	宮崎	都城東高等学校	モビリティ科 2年生 43名
11/7	青森	弘前東高等学校	自動車科 3年生 10名
12/12, 13	東京	都立練馬工科高等学校	キャリア技術科 3年生 22名

動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」に7本のコンテンツ掲載

・・・令和5年10月～12月

普及啓発

財団は動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」にて、10月からの3か月間で合計7本のコンテンツを財団ホームページに掲載した。

道交法改正で新設された「特定小型原動機付自転車」にあたる電動キックボード (1本)、太陽光の有効活用に関する調査 (1本)、及び軽自動車のクルマ作りや搭載技術 (計5本) をテーマとした動画を制作した。



(動画タイトルに続く
< >は掲載日)

▶『16歳以上なら免許なしで乗れる電動キックボードとは？』<10/2>



▶『再生可能エネルギーの有効活用はどこまで可能か？』<10/30>



▶『軽自動車の現在/過去/未来 乗る編 第2回』<11/29>

27都道府県 (65件) の研修会に講師を派遣

・・・令和5年10月～12月

研修

財団は、高等学校や教育委員会からの要請を受け自動車関係団体や企業から専門の講師を派遣している。10～12月の講師派遣実績は、開催件数65件 (前年同期差 +11) であった。参加者総数は13,550名 (同 ▲5名)、平均参加者数は208名/件 (同 ▲42名) と、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も開催規模を抑制する状況が続いている。

尚、今年度の自動車技術分野への申込が累計で36件に達し、開催に至れば年間での最多実施件数となる見込み (これまでの最多は令和元年度の35件)。



▲長崎県立佐世保工業高等学校での講師派遣 (自動車技術)

【分野別 講師派遣実施件数】

分野	件数	対象
1) 交通安全	51	社会科系及び生徒指導担当の先生並びに生徒
2) 環境・交通技術	1	
3) 自動車技術	13	主に工業系の生徒



▲愛知県立国府高等学校での講師派遣 (交通安全)